

御幸地区自治協議会

『地域計画』



流川さくら並木



みざれ太鼓



御幸小学校運動会



重定古墳後室右側壁々画復元図

地域計画とは

自分たちで地域の将来像や課題を考え、その課題の解決方法や将来像を実現する方法などをまとめたものです。

地域計画は、うきは市「自治組織条例施行規則（地域計画の策定）第11条」に「各自治協議会は、地域ごとの地理的な特性、自然、産業、歴史及び文化等の地域資源を活用し、地域の課題を解決するための理念、基本方針及び地域の将来像をとりまとめた地域計画を策定するものとする。」と規定されています。

[目 次]

うきは市地区自治協議会における「地域計画」の策定

I. 地域計画（全体計画）策定の流れ

1. ワークショップによる地域計画策定	… 3
2. ワークショッププログラム	… 3
3. 地区自治協議会地域計画日程	… 3
4. レーダーチャートの活用	… 4
5. 課題カードの活用	… 4
6. 地域アンケートの実施	… 5
7. 12の分野区分（14分野）	… 6
8. 分野別地域計画の策定	… 7

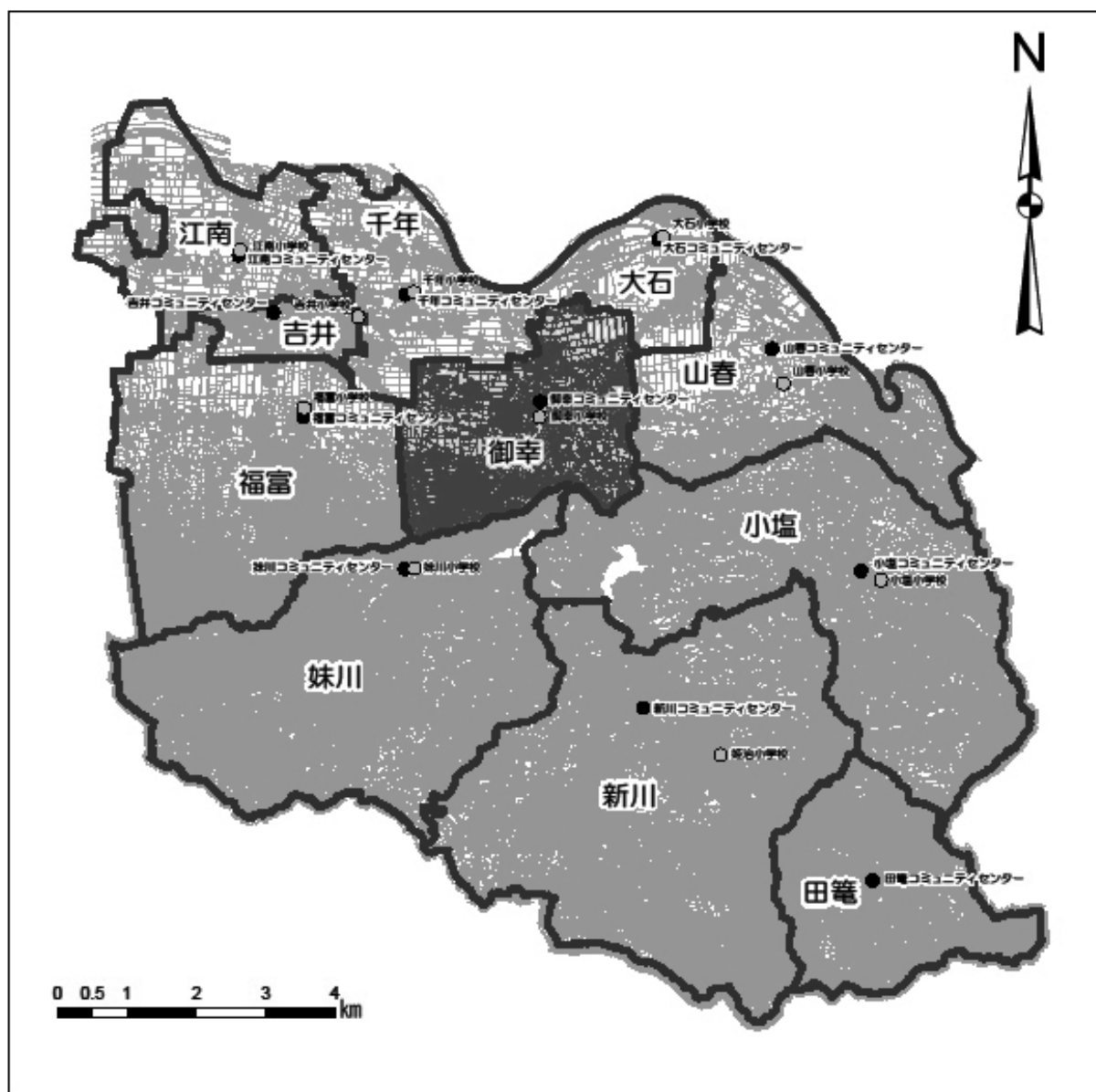
II. 御幸地区自治協議会地域計画

はじめに

1. 御幸地区の現状と課題	… 9
(1) 地域の現状	
(2) 地域の課題	
2. 御幸地区がめざす将来像	… 10
(1) 地区の目標	
(2) 分野（項目）と将来像	
3. 今後の課題	… 11
4. 地域計画策定委員名簿	… 11
5. 資料	… 12
(1) 地域計画課題カード	
(2) 地域計画に関するアンケート結果	
(3) 地域計画まとめ	
① 分野別地域計画	
② 分野別計画まとめ	

うきは市 地区自治協議会における「地域計画」の策定

地区自治協議会が発足して2年、地域づくりを主体的に担う組織として徐々に定着してきましたが、さらに「市民が主役」の協働のまちづくりを推進する次のステップとして、地域計画を地域住民自身の手で作成していきます。



Ⅰ. 地域計画（全体計画）策定の流れ

1. ワークショップによる地域計画策定

まちづくりにおいては、地域にかかわるさまざまな立場の人々が参加して、地域社会の課題を明らかにし、課題を解決するための改善計画を立てる。この共同作業を総称して「ワークショップ」と呼び住民参加型の活動形態の一つとして位置づけられています。

2. ワークショッププログラム

ワークショップは、自治協議会毎に4回計画され、以下の内容でプログラムされました。

回	目的	具体的な内容
第1回	互いに知り合いまちづくりの問題を語る	「レーダーチャート」の作成から地域課題を明らかにする
第2回	地域課題の重みづけ（優先順位づけ）を行う	「課題カード」を活用し、 地域課題の重みづけ・地域の将来像 を考える
第3回	分野別の活動（事業）と将来像を作る	課題を分野別に分類し、 分野ごとに活動（事業）と将来あるべき姿（目標） を考える
第4回	計画の確認・具体的な事業を考える	分野ごとに検討した取り組み内容について、 優先順位や時期 を検討し、最終計画に繋げる

また、各ワークショップが実施された後は、当該事務局とコミュニティ支援係で協議し、まとめを行ないました。

3. 地区自治協議会地域計画日程

うきは市では、11地区の自治協議会において、まちづくりのための「地域計画」策定を行なうこととなりました。

そこで、御幸地区自治協議会をモデル地区に指定し、モデル地区の地域計画を先行させることで、他地区の役員さん等が事前に活動内容を把握できるようにしました。

このことで、各自治協議会において、地域計画の内容を理解し、ある程度見通しを持った活動が出来る事となりました。

協議会	妹川	新川	田竈	小塩	山春	大石	御幸 (モデル地区)	千年	吉井	福富	江南
委員数	20名	11名	15名	21名	27名	39名	22名	27名	16名	15名	24名
第1回	7/29(水) かわせみホール				8/10 (月)	8/24 (月)	5/27 (水)	8/3 (月)	7/17 (金)	7/23 (木)	7/30 (木)
第2回	8/26 (水)	8/26 (水)	8/31 (月)	8/28 (金)	9/16 (水)	9/25 (金)	6/23 (火)	9/18 (金)	8/20 (木)	8/21 (金)	9/10 (木)
第3回	9/29 (火)	9/17 (木)	10/1 (木)	9/28 (月)	10/14 (水)	10/21 (水)	7/27 (月)	10/14 (水)	9/24 (木)	9/15 (火)	10/9 (金)
第4回	10/30 (金)	10/20 (火)	11/12 (木)	10/26 (月)	11/13 (金)	11/25 (水)	9/8 (火)	11/4 (水)	10/20 (火)	10/13 (火)	11/11 (水)

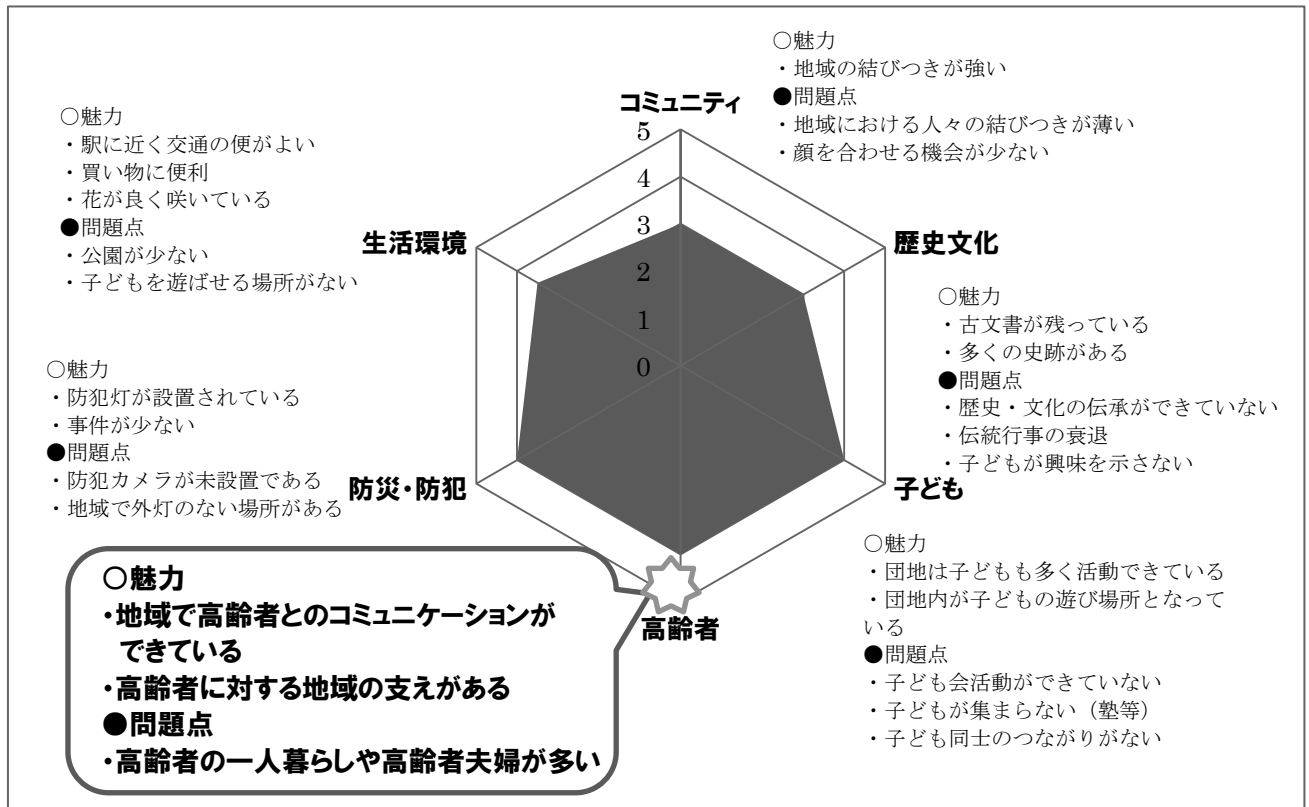
※地域計画策定委員は、公募委員・各種団体役員・自治協議会役員等で構成されています。

4. レーダーチャートの活用

レーダーチャートは、グラフの種類の一つで、複数の項目の大きさを同じ尺度で一覧し、項目間のバランスや全体的な傾向を図形の形状や大小で把握できるものです。

各項目の軸を図の中心を原点として放射状に伸ばし、それぞれの軸上に各項目の値をプロットします。隣接する項目同士を線分で結んでできた多角形が、対象の各項目の傾向を表しています。突出して高い項目や低い項目があるに対応する角に大きな凹凸ができ、値が全体的に高ければ多角形の面積が広く、低ければ狭くなります。

【レーダーチャート】（例）



5. 課題カードの活用

レーダーチャートにおける各項目の「魅力や問題点」から、地域課題を整理して「課題カード」を作成しました。

【地域計画課題カード】（例）

あなたが、課題だと思う項目に☑チェックをしてください。

- ☐ (1) 行政区ごとに**自主防災組織**を作り、組織をしっかりすべきだ
- ☐ (2) **Uターン**の人や移住者を温かく迎える取り組みをすべきだ
- ☐ (3) **子ども会**活動を活性化して、子ども同士が繋がりを持つべきだ
- ☐ (4) 地域の愛着が生まれるような**清掃・花壇**づくりを行うべきだ
- ☐ (5) **小さい買い物**などできない高齢者が増えたので商店などを設けるべきだ
- ☐ (6) **森のみどり**保全、耕作放棄地の整備など自然を守るべきだ

- ☐ (7) **子育て**がしやすい環境づくりをつくるべきだ
- ☐ (8) 夜の安全のため**街灯**の設置、パトロールをすべきだ
- ☐ (9) 地域の活性化を図るため必要な**人材育成**をすべきだ
- ☐ (10) 子どもが非行に走らないため、**あいさつ運動**を行うべきだ
- ☐ (11) 高齢化が進んでいくため、高齢者の**集まる場所**をつくるべきだ
- ☐ (12) **静かな環境**を守るため、コンビニ周辺など深夜の騒音をなくすべきだ
- ☐ (13) 地域の活性化を図るため直売所や**観光施設**をつくるべきだ
- ☐ (14) **若者同士**が知り合い、交流できる機会をつくるべきだ
- ☐ (15) 地域が守ってきた豊富な**歴史的資源**を活用すべきだ
- ☐ (16) 高齢者の一人暮らしが増えてきたので**見守り**をすべきだ
- ☐ (17) 子どもが遊べるような**公園**を整備すべきだ
- ☐ (18) 道路や下水道などの**インフラ整備**をおこなうべきだ
- ☐ (19) 昔から伝承されてきた**伝統や行事**を受け継いでいくべきだ
- ☐ (20) **団地(行政区)内**での活発な子どもの活動を続けていくべきだ
- ☐ (21) 地域が一体化をするため、**イベント**等で活性化すべきだ
- ☐ (22) 高齢者も含めて**多世代が交流**できる場(知恵や技術を学ぶ場)をつくるべきだ
- ☐ (23) **公共交通**が少ないので、みんなが使える交通手段を考えるべきだ
- ☐ (24) **空き家**の増加に対して、空き家対策をすべきだ
- ☐ (25) 高齢者の**生きがい**(出番)づくりをするべきだ
- ☐ (26) 地域の安心・安全を守るため**防犯カメラ**の設置を行うべきだ

6. 地域アンケートの実施

地域計画策定委員会の委員だけでなく、より多くの地域住民の「まちづくり」に関する意見を聞くために、各地区で地域課題を踏まえた「アンケート」を作成しました。

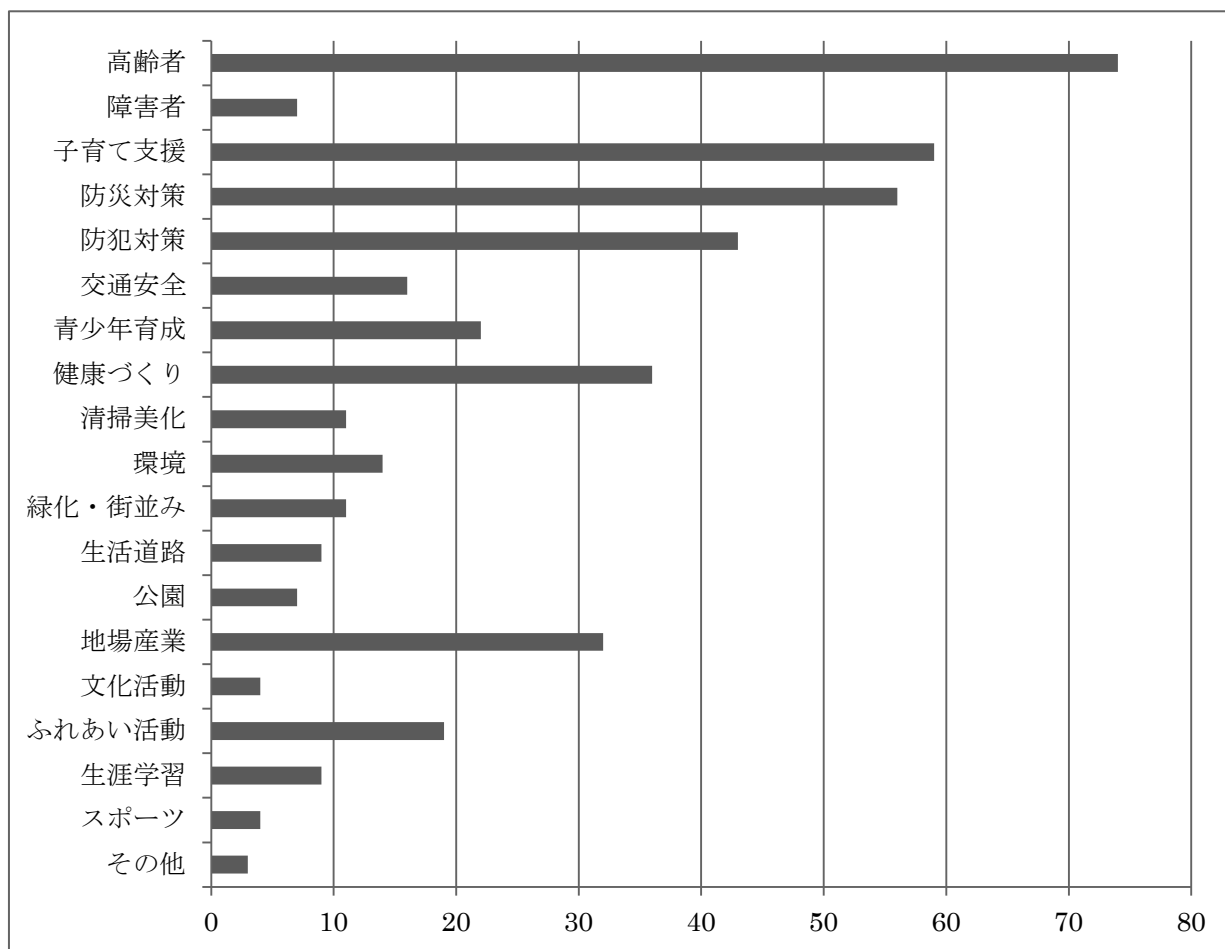
【アンケート結果】(例)

問2 あなたがお住まいの地域のまちづくりの施策として、重要だと考えることは何ですか？

(優先順位が高いものから順に3つ番号に○をつけてください)

① 高齢者の見守り	② 障害者の自立支援	③ 子育て支援
④ 防災対策	⑤ 防犯対策	⑥ 交通安全対策
⑦ 青少年育成支援	⑧ 健康づくり支援	⑨ 清掃・美化活動
⑩ 環境・リサイクル活動	⑪ 緑化・街並み	⑫ 生活道路の整備・管理
⑬ 公園の整備・管理	⑭ 地場産業の育成	⑮ 文化活動の支援
⑯ ふれあい活動	⑰ 生涯学習活動	⑱ スポーツ活動
⑲ その他		

[結 果]



(考 察)

地域のまちづくりの重点施策として、突出しているのは、①高齢者の見守りと、③子育て支援、次いで、④防災対策、⑤防犯対策となっている。このことから、増加する高齢者への配慮と次代を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援すること、また、安心して生活できる地域として防災・防犯対策も求めている。

7. 12の分野区分（14分野）

課題カードをもとに策定委員が取り組むべき重要なものを選定し、それをグルーピングし12（14）の分野区分を設定した。

【分野区分】（例）

1	防犯・防災に関すること	9	地域文化の継承および創出に関すること
2	生涯学習活動に関すること	10	コミュニティビジネス等地域経営に関すること
3	環境及び景観保全に関すること		
4	人権教育・啓発に関すること	11	地域課題の解決、地域振興及び住民交流に関すること
5	福祉および健康増進に関すること		
6	高齢者等の生きがいづくりに関すること		
7	青少年の健全育成に関すること	12	その他特に必要があると各自治協議会が認めること
8	男女共同参画に関すること		

8. 分野別地域計画の策定

自治協議会のまちづくりを推進するための事業、12分野毎に「課題カード」や「アンケート」をもとに、現在取り組んでいる活動と新しい必要な活動を洗い出し、今後自治協議会で推進していく事業を明らかにしました。

その後、今後自治協議会で推進していく3事業を選出し、優先順位と具体的な事業内容を検討しました。

【分野別論議の内容】（例）

分 野	課 題	行政区の活動	校区の活動	新たに必要な活動
防犯及び防災に関すること ・「安全・安心の地域づくり」	・住民の 防犯・防災意識 を高めるような取組を行うべきだ	○シルバー保安官	○防災訓練 ○防災講習会 ○青パトの巡回	○防犯カメラの設置
	・行政区ごとに 自主防災組織 を作り、しっかり機能するようにすべきだ	○堤の見回り ○区毎の自主防災組織		○交通危険箇所マップ ○声かけあいさつ運動
	・山間部における 災害時の備え を徹底すべきだ	○土嚢の保管		○防犯灯の増設

【新たに必要な活動】（例）

区分	自治協議会活動案	どこで	なにを	どうする	だれが			いつ (順位)
					自治協	団 体	行 政	
新規・継続	防災組織の設置および講習会	自治協議会(コミセン)	組織を	設置して研修・講習する	◎	○ 区長会	△	1
新規・継続	防犯カメラの設置	校区内に	防犯カメラを	設置する(陳情する)	○	△ 区長会	◎	2
新規・継続	校区の防災マップ	自治協議会	各区の防災マップを	作成する	◎	○ 区長会	△	3

II. 御幸地区自治協議会 地域計画

はじめに

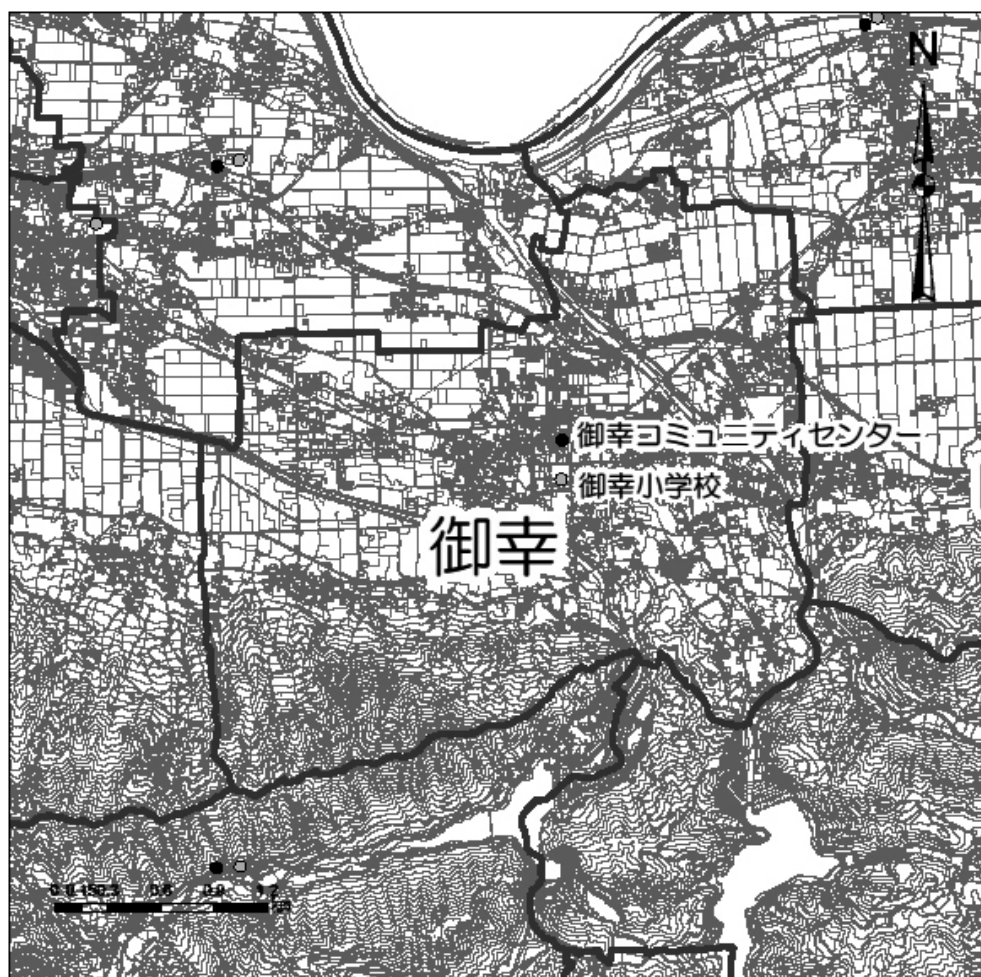
御幸地区自治協議会の「地域計画」は、御幸小学校区28行政区を対象とした『地域まちづくり計画』です。

この計画は、平成27年度公募委員・自治協議会役員・地域の各種団体代表等で策定委員会を組織して検討したものです。

今後は、御幸地区全体がこのまちづくり計画に基づいて、「自らの地域は自らが創る」を目標にして、多くの住民が参画し活動することにより、安全安心で住んで良かったと言えるまちにすることを目指していきます。

そのためにも、一人ひとりの住民のみなさんが、この地域計画の趣旨を理解していただき、まちづくりにご支援とご協力をいただきますようお願いを致します。

御幸地区自治協議会
会長 佐藤 春義



1. 御幸地区の現状と課題

(1) 地域の現状

【御幸地区の人口・世帯の状況】

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

行政区名	世帯数	人口	65 歳以上	高齢率	75 歳以上	後期高齢率	15 歳未満	年少率
松 本	38	117	32	27.4%	14	12.0%	12	10.3%
今 川 通	215	671	138	20.6%	61	9.1%	104	15.5%
東 町	135	426	143	33.6%	67	15.7%	54	12.7%
中 町	68	182	55	30.2%	30	16.5%	19	10.4%
吉 江	89	304	60	19.7%	30	9.9%	65	21.4%
川 原 町	115	341	100	29.3%	50	14.7%	60	17.6%
隈 の 上	48	167	59	35.3%	38	22.8%	13	7.8%
宮 本	85	270	89	33.0%	37	13.7%	35	13.0%
本 町	127	296	61	20.6%	31	10.5%	54	18.2%
西 町	15	39	19	48.7%	9	23.1%	0	0.0%
千足一丁目	27	96	31	32.3%	17	17.7%	11	11.5%
千足二丁目	77	205	64	31.2%	27	13.2%	27	13.2%
千足三丁目	143	407	135	33.2%	70	17.2%	41	10.1%
千足新町	107	225	85	37.8%	36	16.0%	22	9.8%
千足四丁目	61	190	48	25.3%	25	13.2%	32	16.8%
中 川 原	21	65	27	41.5%	19	29.2%	10	15.4%
旭 町	126	387	115	29.7%	51	13.2%	49	12.7%
朝 田 原	87	284	102	35.9%	53	18.7%	36	12.7%
一 の 瀬	85	282	104	36.9%	41	14.5%	28	9.9%
一の瀬新町	110	246	60	24.4%	23	9.3%	38	15.4%
小 坂	59	188	75	39.9%	37	19.7%	20	10.6%
上 流 川	72	276	90	32.6%	42	15.2%	28	10.1%
下 流 川	66	237	74	31.2%	46	19.4%	25	10.5%
東 浮 羽	42	113	49	43.4%	30	26.5%	12	10.6%
御 幸 通	77	223	78	35.0%	49	22.0%	28	12.6%
千足五丁目	161	473	126	26.6%	71	15.0%	81	17.1%
浮 羽	140	478	132	27.6%	72	15.1%	56	11.7%
大 崎	85	214	19	8.9%	5	2.3%	53	24.8%
綿打住宅	6	19	2	10.5%	1	5.3%	5	26.3%
佐藤住宅	6	11	5	45.5%	2	18.2%	0	0.0%
平川住宅	10	15	4	26.7%	1	6.7%	0	0.0%
合 計	2,503	7,447	2,181	29.3%	1,085	14.6%	1,018	13.7%

(2) 地域の課題

御幸地区は、うきは市の中で最も大きな自治協議会で、国道210号線やJR久大線沿いを中心に28の行政区からなる、世帯数2,503世帯、人口7,447名を数える地区です。

また、筑後川支流の巨瀬川、隈上川の両河川の谷口に位置し、谷口集落として発達した自然環境に恵まれた地域であり、塚花塚古墳および楠名・重定古墳といった装飾古墳(いずれも国指定史跡)等歴史的な史跡も存在する地域です。

しかし、少子高齢化・過疎化・核家族化の動きは、地域の共生力を脆弱化させ、28の地区行政区での様々な活動に支障をきたすようになり、地域コミュニティによる地域力の再生が求められるようになっていきます。

2. 御幸地区がめざす将来像

(1) 地区の目標 「地域の魅力と絆で老若男女が生き生きするまち、御幸」

○「地域の活性化で若者が定住できるまち、御幸」

○「地域ぐるみで育む、老いも若きも交流するまち、御幸」

(2) 分野(項目)と将来像

御幸地区将来像を達成するための分野(項目)毎の将来像

No.	分野(項目)	御幸地区まちづくりの将来像
		うきは市まちづくりの将来像(総合計画)
1	防犯及び防災に関する事	安全・安心なまちづくり ・防災意識が広まり住民の安心度が高まっています
2	生涯学習活動に関する事	生涯にわたって学べるまちづくり ・生涯を通じた学習が盛んになっています
3	環境及び景観の保全に関する事	豊かに生活出来るまちづくり ・快適な暮らしができています
4	人権教育・啓発に関する事	やさしさがあふれるまちづくり ・全ての人の人権が大切にされています
5	福祉及び健康増進に関する事	健康で、ふれあい、共に生きるまちづくり ・お互いに支え合う地域ができています
6	高齢者等の生きがいに関する事	笑顔で健やかなまちづくり ・高齢者が地域でいきいきと暮らしています
7	青少年の健全育成に関する事	健康で郷土愛や希望を持つ子どもを育むまちづくり ・青少年が健全に成長しています
8	男女共同参画社会の推進に関する事	男女が活躍できるまちづくり ・男女が互いに認め合い尊重しています
9	地域文化の継承及び創出に関する事	豊かな自然、伝統や文化の息づくまちづくり ・伝統と文化を守られ受け継がれています
10	コミュニティビジネス等地域経営に関する事	地域資源を生かしたまちづくり ・地場産業がいきいきとしています
11	地域課題解決、地域振興及び住民交流に関する事	老若男女が交流し、若者の集まるまちづくり ・誰もがいきいきと安心して暮らしています
12	その他特に必要があると認めるもの	

3. 今後の課題

以上のように、御幸地区の将来像「地域の魅力と絆で老若男女が生き生きするまち、御幸」を実現し、人と自然が共存し、大人から子どもまで集い・交流し生き生きと生活でき、若者が定住できる地区を実現していくための具体的な計画を策定することができました。

しかしながら、御幸地区自治協議会は、28の行政区で成立しており、空き家、高齢者・福祉(一人暮らし高齢者、高齢者の見守り、高齢者の生きがい)、青少年の育成、地域振興等種々の課題があります。

この地域計画を実現していくためには、全住民の理解と協力、人材(リーダー)の育成がなければ推進していくことは困難です。

したがって、御幸地区の活動を地域に理解してもらうため広報や活動の啓発を行っていく必要があります。

4. 地域計画策定委員名簿

No.	委 員 名	備 考
1	佐藤 春義	御幸地区自治協議会 会長
2	三善 智子	御幸地区自治協議会 事務局長
3	樋口 隆三	御幸地区自治協議会 事務局員
4	石井 忠孝	御幸地区自治協議会 顧問
5	原田 一郎	御幸地区自治協議会区長部会 会長
6	山崎 憲一	御幸地区自治協議会区長部会 副会長
7	楠原 利春	御幸地区自治協議会区長部会 書記会計
8	川原 唯男	御幸地区自治協議会区長部会 幹事
9	杉本 勉	御幸地区自治協議会区長部会 幹事
10	高倉 豊	御幸地区自治協議会区長部会 幹事
11	井上 俊幸	御幸地区自治協議会区長部会 幹事
12	松尾 正和	御幸地区自治協議会社会教育部会総務部 部長
13	出利葉隆之	御幸地区自治協議会社会教育部会青少年育成部 部長
14	山下 美子	御幸地区自治協議会社会教育部会女性部 部長
15	林田 康江	御幸地区自治協議会社会教育部会女性部 指導員
16	樋口 良隆	御幸地区自治協議会福祉部会 会長
17	古賀 友浩	住民代表
18	関 健児	住民代表
19	宮崎 二男	住民代表
20	井上きく枝	住民代表
21	西隈 吉伸	住民代表
22	久次 辰巳	住民代表
23	古賀 恒徳	うきは市地域コミュニティ支援本部 副本部長
24	熊谷 泰次	うきは市地域コミュニティ支援本部 部員
25	高木新一郎	うきは市地域コミュニティ支援本部 部員
26	楠原 康成	うきは市地域コミュニティ支援本部 部員

5. 資料

(1) 地域計画課題カード

平成 27 年度御幸地区自治協議会組織検討委員会

地域計画課題カード

あなたが、課題だと思う項目に☑チェックをしてください。

- ☐ (1) 行政区ごとに**自主防災組織**を作り、組織をしっかりすべきだ
- ☐ (2) **Uターン**の人や移住者を温かく迎える取り組みをすべきだ
- ☐ (3) **子ども会**活動を活性化して、子ども同士が繋がりを持つべきだ
- ☐ (4) 地域の愛着が生まれるような**清掃・花壇**づくりを行うべきだ
- ☐ (5) **小さい買い物**などできない高齢者が増えたので商店などを設けるべきだ
- ☐ (6) **森のみどり**保全、耕作放棄地の整備など自然を守るべきだ
- ☐ (7) **子育て**がしやすい環境づくりをつくるべきだ
- ☐ (8) 夜の安全のため**街灯**の設置、パトロールをすべきだ
- ☐ (9) 地域の活性化を図るため必要な**人材育成**をすべきだ
- ☐ (10) 子どもが非行に走らないため、**あいさつ運動**を行うべきだ
- ☐ (11) 高齢化が進んでいくため、高齢者の**集まる場所**をつくるべきだ
- ☐ (12) **静かな環境**を守るため、コンビニ周辺など深夜の騒音をなくすべきだ
- ☐ (13) 地域の活性化を図るため直売所や**観光施設**をつくるべきだ
- ☐ (14) **若者同士**が知り合い、交流できる機会をつくるべきだ
- ☐ (15) 地域が守ってきた豊富な**歴史的資源**を活用すべきだ
- ☐ (16) 高齢者の一人暮らしが増えてきたので**見守り**をすべきだ
- ☐ (17) 子どもが遊べるような**公園**を整備すべきだ
- ☐ (18) 道路や下水道などの**インフラ整備**をおこなうべきだ
- ☐ (19) 昔から伝承されてきた**伝統や行事**を受け継いでいくべきだ
- ☐ (20) **団地(行政区)内**での活発な子どもの活動を続けていくべきだ
- ☐ (21) 地域が一体化をするため、**イベント**等で活性化すべきだ
- ☐ (22) 高齢者も含めて**多世代が交流**できる場(知恵や技術を学ぶ場)をつくるべきだ
- ☐ (23) **公共交通**が少ないので、みんなが使える交通手段を考えるべきだ
- ☐ (24) **空き家**の増加に対して、空き家対策をすべきだ
- ☐ (25) 高齢者の**生きがい**(出番)づくりをするべきだ
- ☐ (26) 地域の安心・安全を守るため**防犯カメラ**の設置を行うべきだ

(2) 地域計画に関するアンケート結果（御幸地区自治協議会）

【 回答 258名／328名（79%） 】

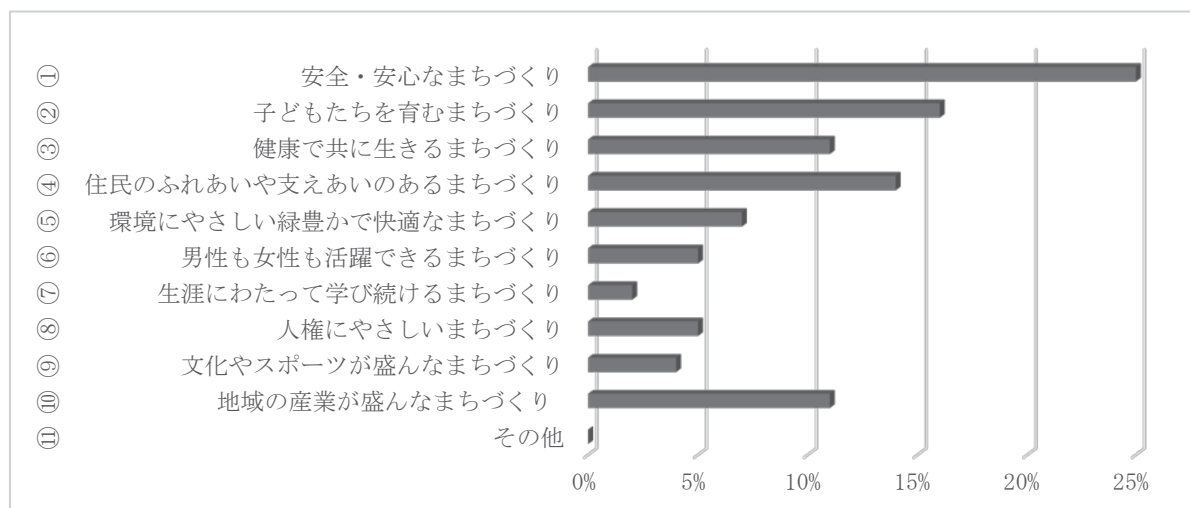
問1 あなたがお住まいの地域のまちづくりの将来像として、重要だと考えることは何ですか？（優先順位が高いものから順に3つ番号に○をつけてください）

- ① 安全・安心なまちづくり
- ② 子どもたちを育むまちづくり
- ③ 健康で共に生きるまちづくり
- ④ 住民のふれあいや支えあいのあるまちづくり
- ⑤ 環境にやさしい緑豊かで快適なまちづくり
- ⑥ 男性も女性も活躍できるまちづくり
- ⑦ 生涯にわたって学び続けるまちづくり
- ⑧ 人権にやさしいまちづくり
- ⑨ 文化やスポーツが盛んなまちづくり
- ⑩ 地域の産業が盛んなまちづくり
- ⑪ その他

○若い人(男、女)が働く場所があること(賃金は公務員なみ)

○浮羽町、吉井町の地域の魅力を出すまちづくり ○企業が少なく外へ出てしまう。

[結 果]



[考 察]

地域のまちづくりの将来像として、優先順位が高い3つは、「①安全・安心なまちづくり」、「②子どもたちを育むまちづくり」、「④住民のふれあいや支えあいのあるまちづくり」が挙げられる。次いで、「③健康で共に生きるまちづくり」と「⑩地域の産業が盛んなまちづくり」となっている。

このことから、御幸地区住民の将来像として、「安全で安心して生活でき、健康でふれあいや支え合い、子どもたちを育むまちづくり」を求めていることが分かる。

また、併せて地域産業が盛んなまちづくりも求めている。

問2 あなたがお住まいの地域のまちづくりの施策として、重要だと考えることは何ですか？（優先順位が高いものから順に3つ番号に○をつけてください）

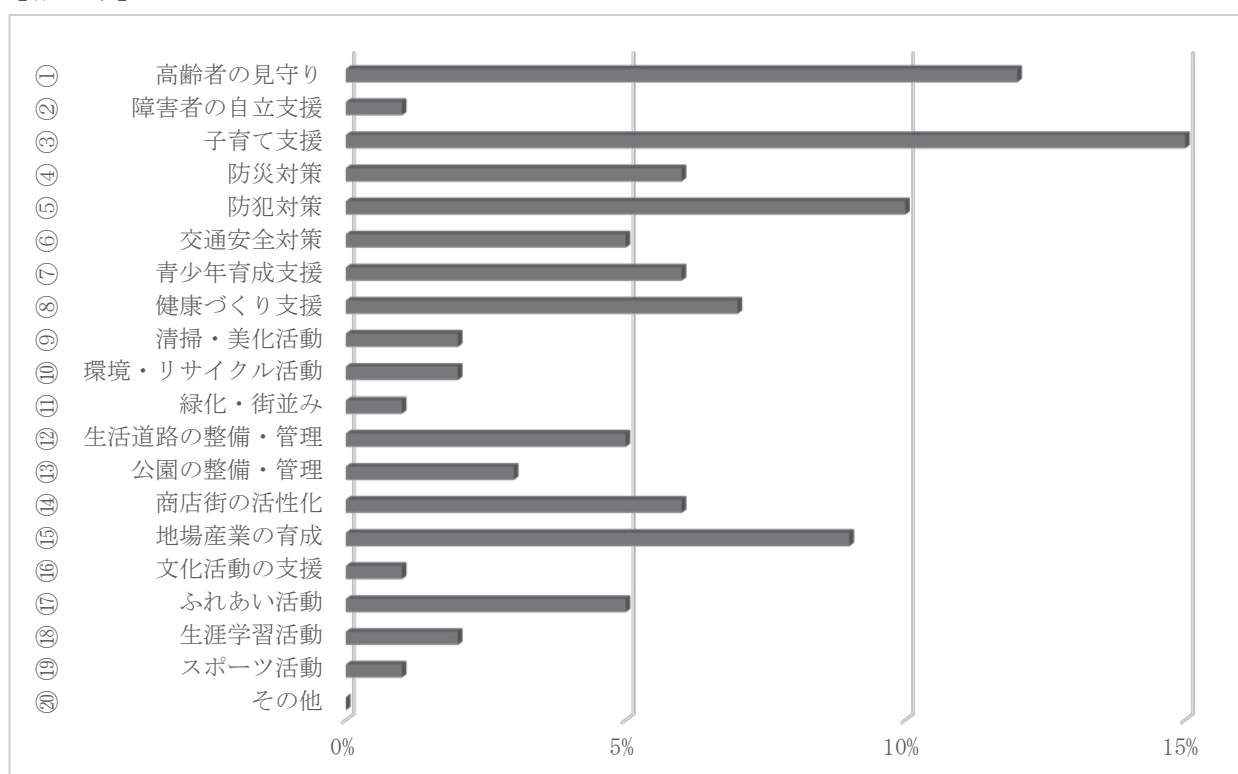
- | | |
|------------|--------------|
| ① 高齢者の見守り | ② 障害者の自立支援 |
| ③ 子育て支援 | ④ 防災対策 |
| ⑤ 防犯対策 | ⑥ 交通安全対策 |
| ⑦ 青少年育成支援 | ⑧ 健康づくり支援 |
| ⑨ 清掃・美化活動 | ⑩ 環境・リサイクル活動 |
| ⑪ 緑化・街並み | ⑫ 生活道路の整備・管理 |
| ⑬ 公園の整備・管理 | ⑭ 商店街の活性化 |
| ⑮ 地場産業の育成 | ⑯ 文化活動の支援 |
| ⑰ ふれあい活動 | ⑱ 生涯学習活動 |
| ⑲ スポーツ活動 | |
| ⑳ その他 | |

○若い夫婦が子ども3人ぐらい産めて生活が出来る町

○産業の誘致

○歩道、街灯、山間部の自然遊歩道などウォーキング、トレーニングなどに対応した施設（多くの人が訪れるまちづくり）

[結 果]



[考 察]

地域のまちづくりの重要施策として、突出しているのは「③子育て支援」、「①高齢者の見守り」、次いで、「⑤防犯対策」、「⑮地場産業の育成」となっている。

このことから、増加する高齢者への配慮と次世代を担う子ども一人ひとりの育ちを地域全体で応援することと安全で安心して生活できる地域として防犯対策が求められている。

また、併せて地場産業の育成も求めている。

問3 あなたがお住まいの地域の魅力をより高める為には、どんなことに優先的に取り組むべきと考えますか？（優先順位が高いものから順に3つ番号に○をつけてください）

① コミュニティセンター（自治協議会施設）活用プランづくり

② みんなが集り・交流できる場所づくり

③ 野菜などの直売所づくり

④ 道路・下水道などの住環境基盤の整備

⑤ 間伐など山の手入れ、森づくり

⑥ 耕作放棄地の整備、美しい里山づくり

⑦ 古道など散策道整備&イベント実施

⑧ 小さな魅力スポット発掘&マップ作成

⑨ 交通の便がよい環境づくり

⑩ 文化・体育的イベント実施

⑪ くつろげる公園や・緑地の整備

⑫ その他

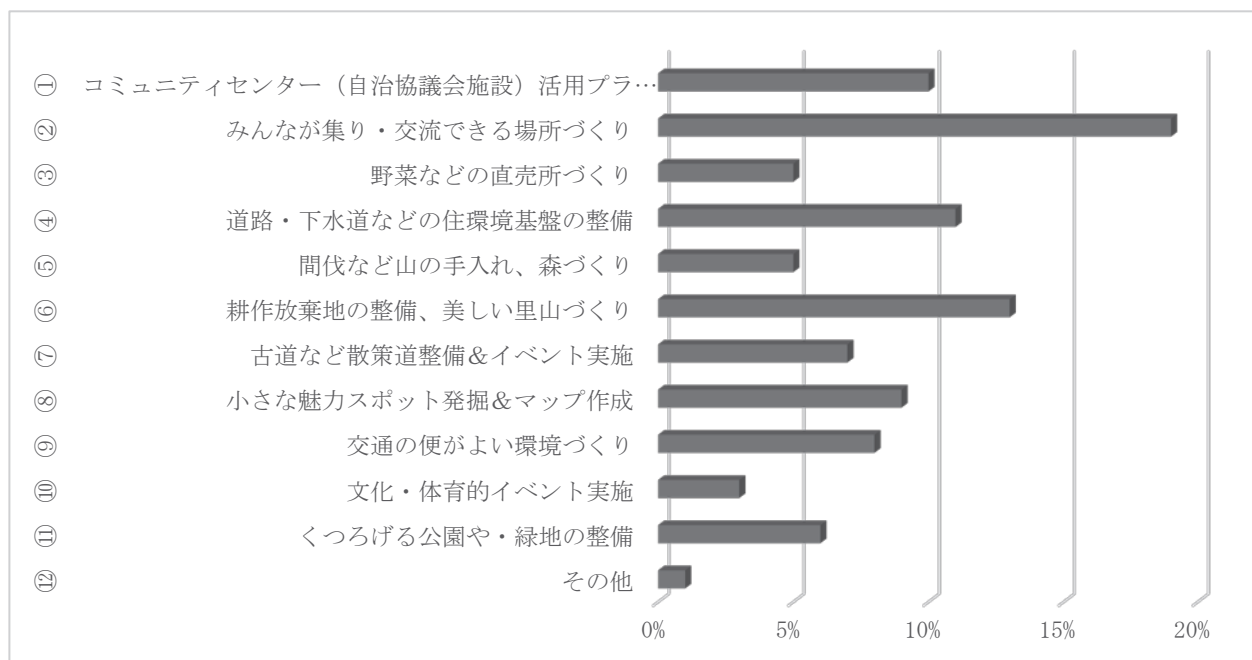
○地下水が豊かなうきは市で合所ダムの水を1,000円で使い放題には反対

○良い計画をやってみて、成果があったものから取り組む

○他の自治協との交わりも必要かと！

○若者が働ける環境づくり

[結 果]



[考 察]

地域の魅力をより高める為に優先的に取り組むべきと考えることとして、突出しているのは「②みんなが集り・交流できる場所づくり」、「⑥耕作放棄地の整備、美しい里山づくり」、次いで、「④道路・下水道などの住環境基盤の整備」、「①コミュニティセンター（自治協議会施設）活用プランづくり」となっている。

問4 あなたがお住まいの地域のつながり、一体感をより高めるために何をしたらよいと考えますか？（優先順位の高いものから順に2つ番号に○をつけてください）

- ① 若者同士が知り合ったり、交流できる機会をつくる
- ② 女性（お嫁さん含む）同士が知り合ったり、交流できる機会をつくる
- ③ おじいちゃん、おばあちゃんの知恵・技術を学ぶ場をつくる
- ④ Uターンの人や、移住者を温かく迎え交流できる場をつくる
- ⑤ こどもが学び・遊ぶ場をつくる
- ⑥ まちづくりについて世代を超えて自由に語れる場をつくる
- ⑦ その他

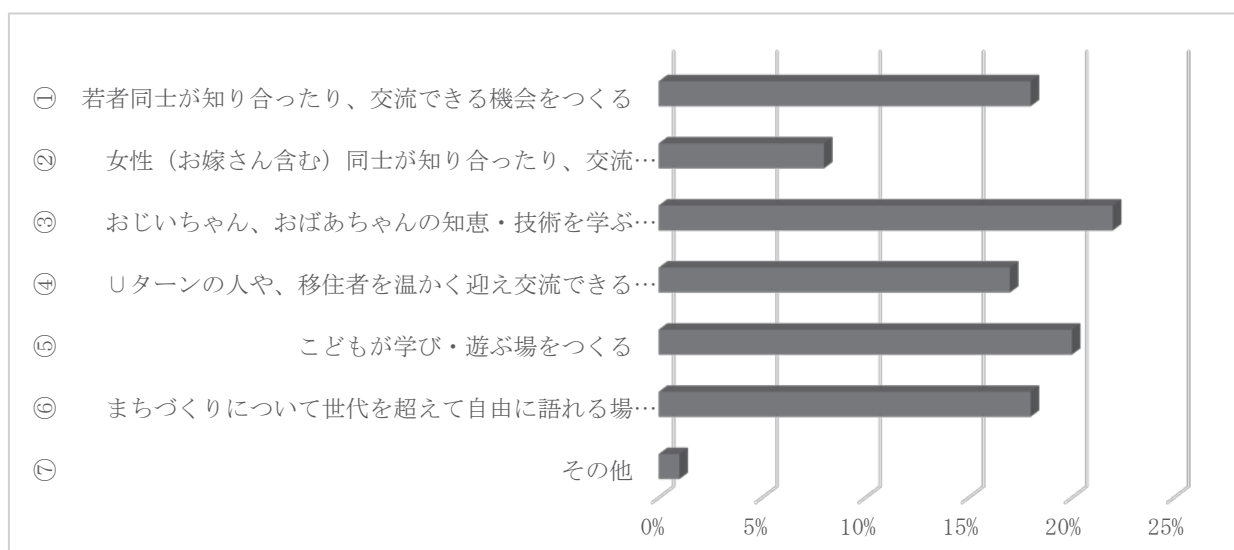
○地域より外に向けてのPR。どんな方法でも良いから。 ○古いしきたりを無くす。

○昔の祭りが少ない。イベントが無い。

○祭り(村祭り)

○行政区内の活性化活動…(例)グラウンドゴルフ大会、納涼祭等

[結 果]



[考 察]

地域のつながり、一体感をより高めるために何をしたらよいかで、突出しているのは「③おじいちゃん、おばあちゃんの知恵・技術を学ぶ場をつくる」、高齢者の知恵・技術を活かす場が求められている。次いで、「⑤こどもが学び・遊ぶ場をつくる」、「⑥まちづくりについて世代を超えて自由に語れる場をつくる」、「①若者同士が知り合ったり、交流できる機会をつくる」と、様々な交流の場（コミュニティ）づくりが求められている。

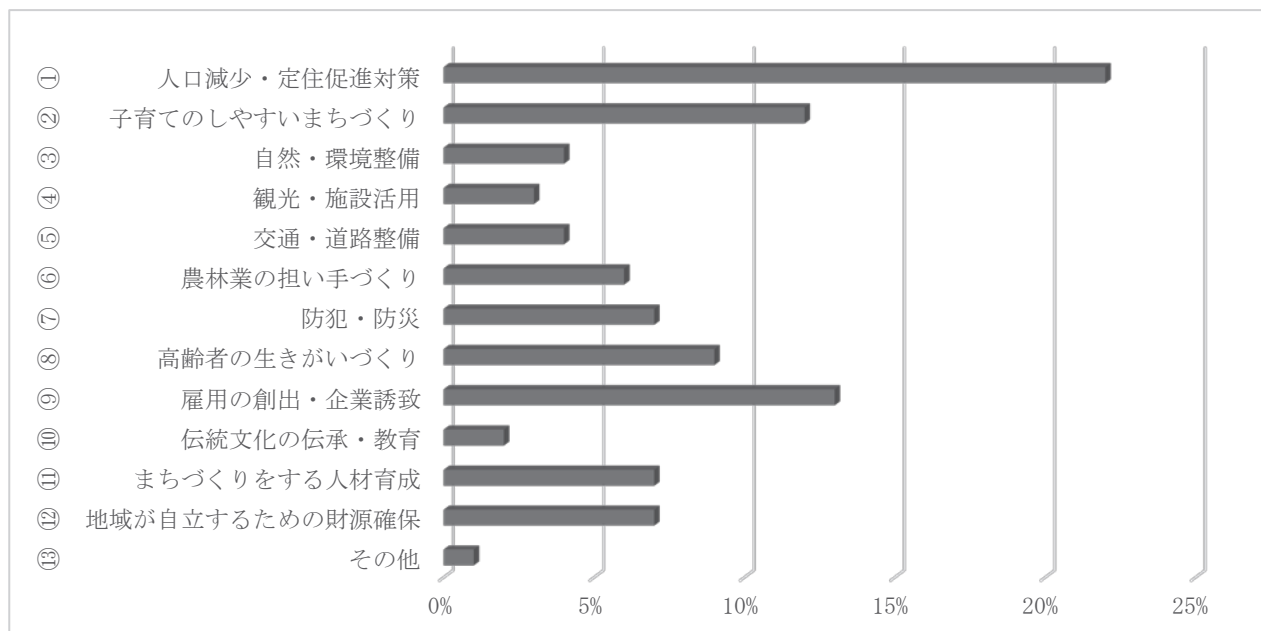
問5 あなたのお住まいの地域の今後10年間のまちづくりにおいて、今真っ先に手を打つべきと考ええる施策は何ですか？（優先順位の高いものから順に3つ番号を記載ください）

- ① 人口減少・定住促進対策
- ② 子育てのしやすいまちづくり
- ③ 自然・環境整備

- ④ 観光・施設活用
- ⑤ 交通・道路整備
- ⑥ 農林業の担い手づくり
- ⑦ 防犯・防災
- ⑧ 高齢者の生きがいづくり
- ⑨ 雇用の創出・企業誘致
- ⑩ 伝統文化の伝承・教育
- ⑪ まちづくりをする人材育成
- ⑫ 地域が自立するための財源確保
- ⑬ その他

○何を優先すればいいかわからないので選べない。 ○学習会(高齢者)が無い
 ○県内でもキラリと光るまちづくりの取組み ○ものごとの考え方の転換

[結 果]



[考 察]

地域の今後10年間のまちづくりにおいて、今真っ先に手を打つべきと考える施策として、突出しているのは「①人口減少・定住促進対策」、「⑨雇用の創出・企業誘致」、次いで、「②子育てのしやすいまちづくり」が求められている。

問6 その他ご意見があれば、なんでもご自由にお聞かせください。

- 子どもの教育費の援助…2子(大学生(22歳)まで半額の補助)、3子(大学生(22歳)までは8割の補助)※金額は国公立を対象にする。
- 「浮羽おくんち」は4/11という11日にこだわっているようです。もっとたくさんの人々の参加しやすい日曜日に変更できたら賑やかさが増すでしょう。
- 企業誘致・営農企業化を図り、若者が定住しやすくすること

- コミュニティセンターの運営(内容)を住民により細かく参加？したほうが良いのでは！
- 見た目のきれいさや統一感などを求めず、安全に歩いたり、(歩いて、自転車で)ショッピングできる歩道の広さ、交差点の安全な状況、夜安心して歩ける街灯(バイパスなど)など、山間部が魅力なので自然を歩ける道づくり(久留米市との連携で)→鷹取や耳納連山との繋がり
- 若い世代の人達がこれから先、住み続けていけるようにもう少し、働ける場所ができれば良いと思います。
- 人口減少、定住促進に市民の英知が結集できる仕組みをつくる。
- 少子高齢化、地域の近くに働く場がないなど、問題はたくさんあるけど、地域のみんなで力を合わせ住み良い場所にしたいものです。
- 井戸水を水道水に整備して企業を誘致すると人が増えると思います。
- うきは市で今出来ることをする。たくさんのお金を使用しなくてもできること。人を集めるのではなく、人が集まるようになることを世代関係なくできれば、何か出てくると思う。とにかく、うきは市の良いところを活かしていただければ良いと思う。
- 若い人が心豊かに生活が出来るまちづくり
- 若い人(男女)の知り合い交流が出来る様なことを市として考え、機会を多くする。
- 若い人の意見を聞き、それを活かすようにする。
- 空き家対策
- 高齢化の人の「うきはアリーナ」での講習会
- 道路、白ラインが消えている。
- 毎年行事がマンネリ化している。吉井ばかりが活性化している。御幸地区の若い人の行事が少ない。辰巳会が活性化している。
- アンケートの結果報告ない？
- 障害者の自立するためのまちづくり
- みんなが交流できる機会をつくる。年寄りから子ども
- 市議定数を減らす(給料を下げて)その分自治会へ回してほしい。※彼(彼女)らが役に立っているとは思えない。
- うきは市は農林業が適した環境で農産物や林業に付加価値を付けて国内外に販売したらどうか？
- 先月も“日本最古はうきは市”という新聞記事がありました。意外なところにうきはの良さはかくれています。
- 高齢者人口減少を前提にした政策づくりをするべき。
- 調査項目をもう少し絞ってはどうか。
- 人材育成を最重点に実施すべき。
- 空き家対策について具体的に取り組んでほしい。火災、その他心配な点あり。
- 小学校では祖父母学級等やふれあい活動を通して、年配の方との交流があると思います。しかし、中学生以上になるとお年寄りとの交流はなく、子どもも部活、勉強と忙しい。高齢者の方も自分の孫ではないからということで疎遠になっていくのではないだろうか。
- 流川主体で行っている桜まつりについて(桜並木は地域の財産。観光物な見方をすれば桜まつりは流川だけで実施するのではなく周囲、浮羽四区を巻き込んで売店、出店等の誘致を行い、もっと盛大なイベントにしては?)※コミュニティセンターが音頭をとってみてはいかがですか？
- 何か御幸地区だけでの大きなスポーツ大会をしてみたら。
- 子どもが女性が老人がコミュニティセンターへ集まりたくなる仕掛けづくりが大事

(3) 地域計画まとめ

① 分野別地域計画

No.	分 野 (目標)	課 題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 校区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
1	防犯及び防災 に関すること (目標) 安全・安心なまち づくり	○行政区ごとに 自主防災組織 を作り、組織を しっかり する。	○自主防災組織編成と意識統一化 ○防災訓練(子ども)	● 防災講習会	○御幸地区の防災組織の発足 ○防災訓練を校区全体で ・避難周知徹底必要 ・講習会開催(定例) ・自主性のあるところから ・行政区すべてで組織を作る ・ブロックごとでの組織も必要? ・校区で統一したものがあれば ・自治協のリーダーシップ ○自主防災連絡会	● 自主防災連絡会を作る ○御幸地区の防災組織の発足 ○防災訓練を校区全体で
		○ 空き家の増加に対して、空き家対策 を行う。	○空き家の巡回		○空き家のリフォーム化(定住・屋台村) ○空き家再生会社(行政・民間) ○空き家の巡回 ・隣近所で見回る ○自治協で校区内の数を把握 ○市に提供、市と連携 ・空き家を安く貸し出す	● 空き家の実態を調査して市へ提供 ○空き家の見守り
		○ 地域の安全確保のため防犯対策 を徹底する。	○交通安全活動 ○あいさつ運動 ○防犯委員との話し合い ○防犯灯のLED化	○子ども見守り(登下校時、シルバー保安官) ○街頭補導活動 ○河川・道路の見守り ○果樹防犯・防犯パトロール	○子ども・老人の見守り体制構築 ○子どもにGPSシステム ○少年補導員の増員 ○防犯・PTAの組織化	

区分	自治協議会活動案	だれが			どこで	なにを	どうする	いつ (順位)
		自治協	団 体	行 政				
新規・ <u>継続</u>	防災講習会	◎	消防団	○	校区全体と行政区単位	防災について	講習・避難訓練	1
<u>新規</u> ・継続	自主防災連絡会を作る	◎	消防団	情報提供	自治協	区長会に説明して会員募集	○組織化 ○地域防災マップ	3
<u>新規</u> ・継続	空き家実態調査	○	行政区	受け皿	行政区ごとに御幸地区全体	空き家を	ランク付け→市へ情報提供	2

No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 校区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
2	生涯学習活動 に関すること (目標) 生涯にわたって 学べるまちづく り	○地域の活性化を図るため 必要な人材育成をする。	○クリスマス会 ○太極拳 ○ラジオ体操 ○ソフトボール大会(老 若男女が一堂に集ま る) ○区内全員のカルタ大 会	●御幸地区グラウン ド・ゴルフ大会	○リーダー育成・養成塾 ○自治協が地域に必要なメジャーな存在 に ○若者も高齢者も定住できるまちづくり ・子どもの頃から地域の大切さを教える ・役まかせではなく、寄り添って指導支援 をしていく ・同年代の人による声かけ活動へ ・区の役員による若者へのヒヤリング きっかけづくり(地域へかかわる)	●リーダー育成・養成塾 ●活動の場づくり(各種教室 開催)

区分	自治協議会活動案	だれが			どこで	なにを	どうする	いつ (順位)
		自治協	団 体	行 政				
新規・継続	御幸地区グラウンド・ゴルフ大会	◎	体育協会 スポーツ推進員		浮羽体育センター	グラウンド・ゴルフ大会	住民・世代交流をする	1
新規・継続	リーダー育成・養成塾	◎	講師を招聘		自治協	リーダー育成	研修会の実施する	2
新規・継続	活動の場づくり(各種教室開催)	◎			自治協	趣味・教養等の活動の場	提供する	3

No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 校区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
3	環境及び景観 の保全に関すること (目標) 豊かに生活出来るまちづくり	○道路や下水道などのインフラ整備を行う。			○道路整備 ・住民理解 ・千足二丁目・三丁目の踏切時間と道路問題	●防犯灯・防犯カメラ設置
		○子どもが遊べるような公園を整備する。			○空き家(地)の有効利用 ・運動広場の整地 ・高齢者との交流が出来る公園	●多目的公園設置 (防災を兼ねた公園づくり)
		○Uターンの人や移住者を温かく迎える取り組みを行う。			・実態調査 ・魅力発信 ○住みやすさPR ・意識改革 ・区入金がハードルになっている ○区に入りやすい条件を ・区の負担金見直しが必要なところも ・区入金の検討 ・声かけ ・声かけを行う(区の役員になる) ・お祝い金 ・行政区で歓迎会開催 ・新人紹介、サポーター(教える人) ・市役所窓口で行政区へアプローチする ・キャンペーンの実施? ・お宮の行事が面白くないといけない ・常会で紹介、ふれあいの機会 ・住んでよかったと思えるふれあい	●転入しやすい環境づくり ○区入金の見直し (校区全体で) ○住みやすさPR
		○地域の愛着が生まれるような清掃・花壇づくりを行う。	○花いっぱい運動	○花いっぱい運動	○花いっぱいの拡充 ・フラワーロードを設ける ・お年寄り、若者交えて花植え活動 ○校区フラワーロード	●校区フラワーロード
		○美しい自然環境を守る取り組みを行う。	○清掃(地域・河川・お宮) ○除草作業(公園) ○資源回収 ○地域の人との農園づくり	○道路・河川愛護活動 ○道路や水路の草取り作業 ○公民館の整備	○身近な環境美化 ・全員が参加できる活動になれば、環境美化がすすむ ・現活動の継承とプラス1活動 ・一つの事を地域全体で統一して ・地域のつながりを大切に	

区分	自治協議会活動案	だれが			どこで	なにを	どうする	いつ (順位)
		自治協	団体	行政				
新規・継続	校区フラワーロード	◎	老人クラブ	○	校区全体・行政区単位	花植え	活動	1
新規・継続	防犯カメラ・防犯灯設置	○	防犯協会 市議会議員	◎	校区全体	防犯カメラ・防犯灯設置	陳情	2
新規・継続	転入しやすい環境づくり (啓発)	◎	行政区		区長会	入区費等	○啓発する ○交流する	3
新規・継続	多目的公園設置		市議会議員	○	うきは市民ホール跡地	多目的公園設置	陳情	4

No.	分 野 (目標)	課 題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 校区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
4	人権教育及び啓発に関する こと (目標) やさしさがあふ れるまちづくり	○人権教育・啓発推進を行 う。		●人権学習 (区長会・分館長会・ 各部会)	○校区全体の人権講演会 ○人権の花づくり	●人権講演会

区分	自治協議会活動案	だれが			どこで	なにを	どうする	いつ (順位)
		自治協	団 体	行 政				
新規・ 継続	人権学習(区長会・分館 長会・各部会)	◎	人権擁護委員 人権教育・啓発推進員	○	行政区単位	人権について	学習・啓発をする	1
新規 ・継続	人権講演会	◎	講師を招聘	○	校区全体	人権について	啓発・講演をする	2

No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 校区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
5	福祉及び健康 増進に関する こと (目標) 健康で、ふれあ い、共に生きるま ちづくり	○高齢者に対する見守りな どの支援を徹底する。			○福祉委員の増員	
		○地域福祉の充実のための 取組みを推進する。	○小座談会 ○よりあい会	●福祉委員研修会 ●御幸地区福祉大会 ●企画委員視察研修 ●年末たすけあい運 動 ●年頭たすけあい献 血	・元気塾とよりあい会は一緒にでき なのか？ ・目的・内容の再検討 ○福祉委員研修の充実 ○福祉委員視察研修	●福祉委員研修の充実 ●福祉委員視察研修

区分	自治協議会活動案	だれが			どこで	なにを	どうする	いつ (順位)
		自治協	団 体	行 政				
新規・ 継続	福祉委員研修会	◎	社 協		御幸コミュニティセ ンター	福祉について	学習をする	1
新規・ 継続	御幸地区福祉大会	◎	社 協 行政区		かわせみホール	福祉功労者・団体表彰、 福祉について	講演会を開催する	2
新規・ 継続	企画委員視察研修	◎	社 協		市内外	先進地へ	視察研修を開催する	3
新規・ 継続	年末たすけあい運動	◎	社 協 行政区		各行政区	高齢者のひとり暮らし、 長期入院者へ	声かけ・見守り	4
新規・ 継続	年頭たすけあい献血	◎	社 協 行政区		各行政区	献血への	協力依頼・声かけ	5
新規 ・継続	福祉委員研修の充実	◎	社 協 行政区		御幸コミュニティセ ンター	福祉についての研修	充実する	6
新規 ・継続	福祉委員視察研修	◎	社 協 行政区		市内外	先進地へ	視察研修を開催する	7

No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 校区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
6	高齢者の生きがいに 関すること (目標) 笑顔で健やかな まちづくり	○高齢者の生きがい(出番) づくりを行う。			○高齢者の生きがいの場づくりを行う ・きらきらのような活動を定例化する ・他の事業にも呼びかける ・得意銀行(○○教室、先生) ・労働出来ないお年寄りによる集まり、労働できるお年寄りの振り分け。 ・公民館教室の指導者になってもらう ・きらきら活動の出番をお年寄り自ら行う(お世話、リーダー) ・クリスマス会等の活動に声掛けして、協力・見守りをしてもらう ・得意なものを調べて、その際に指導をお願いする ○老人からシニアに名称変更	●生きがいづくり
		○高齢化が進んでいくため、 高齢者の集まる場所をつくる。	○傘寿・卒寿祝い ○食事会 ○グラウンド・ゴルフ ○高齢者の集い ○敬老会 ○愛の一声運動 ○元気塾 ○ロコモ教室 ○シニア向け運動会 ○老人会の寺掃除 ○高齢者をハイクに	○市全体での金婚式 ●ひとり金婚式 ○老人クラブGG大会	○行政区公民館に集まる場所と活動づくり ・行政区公民館を常に開放する ・よりあい活動(行政区公民館) ○老人クラブの活動充実 ・老人クラブ主催で花植え活動をしていた。外で活動をするのが大切。 ・耕作放棄畑などでお年寄りが農作業をするような活動 ・荒廃畑で作った野菜で料理し、食事会開催など ・近くで好きなこと、生きがいのある場。区で制度 ・きらきら活動、水・土曜日開催(商工会) ○敬老会の在り方(校区又は行政区) ・福祉委員主導ではなく、引きこもりにならないよう工夫 ・高齢者の麻雀サロン・古民家でのカラオケ設備 ・シニア運動会 ・行政区単位の敬老会へ見直す	●健康づくりの内容充実 ●集う場所づくり ●近くで集まれる場づくり

区分	自治協議会活動案	だれが			どこで	なにを	どうする	いつ (順位)
		自治協	団 体	行 政				
新規・継続	ひとり金婚式	◎	社協		校区内	一人で金婚式を迎える方	祝う	1
新規・継続	健康づくりの内容充実	◎	行政区・社協 老人クラブ 福祉委員	保健課		○血圧測定、健康講話の内容充実 ○一般教養と専門分野 ○対象者を明確にした活動を	○行政区と自治協と関係団体が協議する	2
新規・継続	生きがいづくり	◎	行政区・社協 老人クラブ 福祉委員	○		○GG大会(御幸地区) ○パークゴルフ ○軽スポーツ(ニュースポーツ) ○カラオケ ○花づくり ○フラワーロード ○生産活動 ○耕作放棄地の利用	○リーダーづくり ○GG愛好会(週3回)	3
新規・継続	集う場所づくり	◎	行政区 老人クラブ		○公民館 ○空き家	○集う場所(サロン) ○行政区の公民館を利用したサービス	○行政区と自治協が協議する	4
新規・継続	近くで集まれる場づくり	◎	行政区	○	御幸コミュニティセンター・各行政区公民館	自由に集まる場所	提供する	5

No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 校区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
7	青少年の健全 育成に関する こと (目標) 健康で郷土愛や 希望を持つ子ど もを育むまちづ くり	○子育てがしやすい環境づ くりを行う。	○図書館読み聞かせ活動	●御幸小学校新入児旗取り 支援 ●御幸地区子育てと教育を 進める集い ●学童フットベースボール大会 ●わんぱく教室(絵画、書道、 将棋、陶芸、民謡・民舞、み ざれ太鼓・よさこい踊り等) ●わんぱく寺子屋 ●夏休みバス研修 ●御幸小学校子育て応援事 業(さつまいも植え・堀り) ●アンビシャス広場	○中学生と地域のつながり ○PTAの在り方 ○地域での子育て・コミュニティスクール ○子どもを育むリーダーの存在 ○子ども達が住み続けるまちづくり ・学社連携 ・自治協と学校の連携(役割分担) ・地域のつながりの強化 ・寺子屋スタッフの充実(教師OB) ○わんぱく寺子屋の充実と成果を ○中学生の組織化 ○中・高生の参加できる行事 ・子どもを預けて仕事に行ける体制づくり ・無関心な親への対策⇒地域の手 ・寺子屋の充実 ・地域によるあいさつ運動(見守り) ○子どもの居場所(不登校、コミセン、寺子屋) ・不登校学生が多い。通える場所づくり(学習できる) ・不登校生徒の居場所づくりとしてコミュニティセンターそ して地域のかわり ・幼児、小学校、中学校と小さい頃から繋がっていかねばならない	●子どもの居場所づくり
		○子ども会活動を活性化し て、子ども同士が繋がりを 持てるようにする。	○道路愛護と子ども会活動 ○地区子ども会での行事 ○子ども会活動 ○夏のバーベキュー ○大字単位での行事 ○伝統行事の継承 ○子どもと親のバス旅行		○各区をまとめる子ども会組織 ○子ども会対抗クイズ大会 ・子ども会の統合 ・中高生が子ども会のリーダーになる ・小学生児童のみの子ども会ではなく、幼児から等制限を設けない ・地域の大人が子ども会活動(カブト虫取り)に付き添う ・行政区子ども会間の連携 ・子ども会指導者(保護者)の育成 ・地域の大人が昔遊びを教える ・熱血教師による指導必要。感動に繋がる ・共通のテーマを持って中高生の指導を行ってもら(スポーツ等) ・道路愛護の後を有効利用。スポーツによる交流(世代間) ・自治協主導による行政区の連携を提案する ・常時2～3の行政区子ども会で活動を行う(イベント時だけではなく) ○子ども会サポーター制度(中高生・おじさん) ⇒子ども会・部活動(魚釣り、野外体験(テーマ)、昔遊び)	●子どもサポーター制度 ●子ども会の統合見直し

区分	自治協議会活動案	だれが			どこで	なにを	どうする	いつ (順位)
		自治協	団 体	行 政				
新規・ <u>継続</u>	御幸小学校新入児旗取り支援	◎			御幸小学校運動会新入児旗取り	入学祝い品	贈呈する	8
新規・ <u>継続</u>	御幸地区子育てと教育を進める集い	◎	小学校・PTA		かわせみホール	子育て	高める	5
新規・ <u>継続</u>	学童フットベースボール大会	◎	小学校・PTA・子 ども会		浮羽体育センター・御幸小学 校運動場	フットベースボール大会	開催する	4
新規・ <u>継続</u>	わんぱく教室(絵画、書道、将棋、陶芸、民 謡・民舞、みざれ太鼓・よさこい踊り等)	◎	小学校・PTA		御幸コミュニティセンターと 近隣施設	生きていく力	身に付ける	1
新規・ <u>継続</u>	わんぱく寺子屋	◎	小学校・PTA		御幸コミュニティセンター	学力	向上させる	2
新規・ <u>継続</u>	夏休みバス研修	◎	小学校・PTA		市内外	体験・体感	実施する	3
新規・ <u>継続</u>	御幸小学校子育て応援事業(さつまいも植え・堀り)	◎	小学校・PTA		御幸小学校	学校と地域と	連携・支援する	6
新規・ <u>継続</u>	アンビシャス広場	◎	小学校・PTA 福岡県		御幸コミュニティセンター	子どもが遊ぶ場所	提供する	7
<u>新規</u> ・継続	子どもの居場所づくり	◎	小学校		御幸コミュニティセンター	子どもが居れる場所づくり	支援・提供する	9
<u>新規</u> ・継続	子どもサポーター制度	◎	子ども会・小学校		行政区と自治協	○野外活動 ○しつけ、あいさつ ○道路愛護の後の活動		10
<u>新規</u> ・継続	子ども会の統合見直し	◎	子ども会・小学校		自治協主導	編成提案		11

No.	分 野 (目標)	課 題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 校区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
8	男女共同参画 社会の推進に 関すること (目標) 男女が活躍でき るまちづくり	○男女共同参画社会の推進 に向けた取り組みを行う。		●女性部連絡員視察 研修 ●女性部連絡員学習 会	○女性役員(区長・分館長等)の増加 ○地区民へ講演等での啓発活動	●女性役員(区長・分館長等) の増加 ●地区民へ講演等での啓発活 動

区分	自治協議会活動案	だれが			どこで	なにを	どうする	いつ (順位)
		自治協	団 体	行 政				
新規・継続	女性部連絡員視察研修	◎	行政区		市内外	先進地へ	視察研修を開催する	1
新規・継続	女性性部連絡員学習会	◎	行政区		校区全体・行政区単位	趣味・教養	高める	2
新規・継続	地区民へ講演等での啓 発活動	◎	行政区		校区全体・行政区単位	男女共同参画社会につい て	講演・啓発	3
新規・継続	女性役員(区長・分館長 等)の増加	◎	行政区		校区全体・行政区単位	女性役員	増員・啓発	4

No.	分野 (目標)	課題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 校区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
9	地域文化の継承及び創出に関すること (目標) 豊かな自然、伝統や文化の息づくまちづくり	○森のみどり保全、耕作放棄地の整備など自然を守る。	○巨瀬川並木・史蹟清掃		○森と緑の保全、耕作放棄地の整備 ・古墳とみどりセットで ・公園をつくる ・農地の見守り ・耕作放棄地の情報発信(空き家同様)	○農地バンク
		○地域が守ってきた豊富な歴史的資源を活用する。			○歴史的資源を活用 ・ウォークラリー開催 ・資源をキレイに保つ ・セットでのPR(点在する資源) ・ストーリー性をもたせる	●資源マップ作成 ○ボランティアで観光案内人 ○各地をつなぐマップ
		○昔から伝承されてきた伝統や行事を受け継ぐようにする。	○浮羽島と出水祭り ○神社の当番割 ○伝統行事(祭り) ○秋葉様 ○鬼火たき ○土竜打ち ○地域の祭り (いまご祭り・えびす祭り・おくんち) ○文化祭への参加	●御幸地区文化祭	○祭りの内容や開催日の見直し ○文化祭の在り方(校区又は行政区) ○行政区単位の文化祭へ見直す ・当番制負担になっている人がいる？ ・現状に見合った行事の見直し ・多世代から意見を聞く ・後継者が必要 ・協力体制構築(人的に、金銭的に) ・やりがい、楽しさを ・モチベーションの高い人がやる ・お宮の行事 ○20日ゑびす祭り ・20日ゑびす祭り充実	○校区で発表会(見直すきっかけ) ●20日ゑびす祭り

区分	自治協議会活動案	だれが			どこで	なにを	どうする	いつ (順位)
		自治協	団体	行政				
新規・継続	御幸地区文化祭	◎	文化協会 関係団体		御幸コミュニティセンター	趣味・教養の場	提供する	1
新規・継続	20日ゑびす	◎	ゑびす祭り 実行委員会		20日ゑびす会場	20日ゑびす祭り	協働に実施する。	2
新規・継続	資源マップ作成	◎ 新たな組織	各行政区	○	自治協で	各行政区の資源の情報を	取りまとめる	3

No.	分 野	課 題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 校区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
10	コミュニティ ビジネスに関 すること (目標) 地域資源を生か したまちづくり	○地域が一体となって取り 組むことができるように イベント参加の推進を行 う。		●うきは祭り出店	○ウキウキうきはマルシェ出店(いそ のさわ蔵開き) ○地区のイベント参加	●ウキウキうきはマルシェ出 店(いそのさわ蔵開き)
		○コミュニティセンターを 活かした地域おこしを推 進する。			○「ななつ星」に関わり、「旗づくり」 と販売	
		○地域の活性化に向けた委 員会検討する。			○まちづくり検討委員会の設置	●まちづくり検討委員会の設 置

区分	自治協議会活動案	だれが			どこで	なにを	どうする	いつ (順位)
		自治協	団 体	行 政				
新規・継続	うきは祭り出店	◎		○	うきはアリーナ	地元の物産品	販売する	1
新規・継続	ウキウキうきはマルシ ェ出店	◎		○	市民ホール駐車場	地元の物産品	販売する	2
新規・継続	まちづくり検討委員会	◎	各種団体 各行政区		御幸コミュニティセン ター	まちづくりについて検討 する委員会	設置する	3

No.	分 野	課 題	現在取り組んでいる 行政区活動	現在取り組んでいる 校区内活動	新しく必要な活動	今後取り組む活動
11	地域振興及び 住民交流に関 すること (目標) 老若男女が交流 し、若者の集まる まちづくり	○若者同士が知り合い、交流 できる機会をつくる。	○婚活活動		○青年団組織 ○若者の活動の場 ○若者ワークショップ(事業をまかせる) ・20～30代の人を集めて何か活動に取 組んでもらう ○未婚女性を集めるイベント ○若い人を集める ○20～30代の若者との交流 ・飲み・食べ放題バーベキュー ○若者が好むスポーツ競技の実施 ○若者へのアンケートと交流方法検討 ・未婚者をリストアップ ・青年団等のクリスマス会復活 ・婚活 ・若者○○事業→若者に聞く	●若者によるワークショップ事業 づくり
		○高齢者も含めて多世代が 交流できる場(知恵や技術 を学ぶ場)をつくる。	○子ども会役員との酒 飲み ○お年寄り・子ども会と の交流		○多世代が交流できる場づくり ・お互い先生になる交流 ・しめ縄講習会による交流 ・地域で中学校OB会のような繋がりをつ くる ・若者によるお年寄りへの携帯電話の指導	
		○地域が一体化をするため、 イベント等で活性化を図 る。	○うきは祭り・よさこい 祭り ○行政区対抗ソフト大 会 ○学団別ソフト・ビーチ ボール大会	○運動会の開催 ○県民大会予選 ●御幸地区自治協議会 だよりみゆきかわら 版	○地域活性化の取組み ・行政区主催のお祭り ・校区によるお祭り開催 ・市運動会を校区運動会へ ・校区運動会・祭り	●自治協議会ボランティア (行政区連絡員) 広報員 ●みゆきかわら版の活性化

区分	自治協議会活動案	だれが			どこで	なにを	どうする	いつ (順位)
		自治協	団 体	行 政				
新規・継続	御幸地区自治協議会だよりみゆき かわら版	◎			御幸コミュニティセンター	地域の情報	発信する	1
新規・継続	自治協議会ボランティア (行政区連絡員) 広報員	◎	行政区		御幸コミュニティセンター	地域情報のボランティア広報委 員	育成する	2
新規・継続	みゆきかわら版の活性化	◎	行政区		御幸コミュニティセンター	地域情報を月1・2回	発信する	3
新規・継続	若者によるワークショップ事業づ くり	◎	若者団体	若い職員参加	自治協(御幸コミュニティセン ター)	若者へのヒヤリングをして事業	計画・実施する	4

分野№12 その他特に必要があると各自治協議会が認めること

課題となっている校区活動		新しく必要な活動内容	今後取り組む活動
課 題	内 容		
○コミュニティセンター問題 (移設問題)	現在の御幸コミュニティセンターは、設置場所が国道 210 号沿いにあり、交通上危険であるし、駐車場もない。また、災害時の避難場所にもなっていない。 そして、施設の雨漏りも発生し、大規模な修理を要する。	現在の施設を地域のコミュニティセンターとして、継続して使用していくことは、環境上好ましくない。 地域の住民が集まりやすく、子ども達や高齢者も安心して使用できる場所への移転が必要である。	「うきは市男女共同参画センター(だんだん)」や「うきは市民ホール」が近隣にあり、駐車場や子どもや高齢者が集まる環境も良いため移設の検討を行っていききたい。
○組織機構改革 (区長委嘱)	平成 29 年度より市より区長委嘱制度が廃止になるため、区長と自治協との関係や位置づけが重要である。	現在の自治協の 3 部会の組織を見直し、区長が自治協の役員としての組織づくりが必要である。	区長の自治協へ参加についての啓発を行っていききたい。
○地域振興事業 地域おこし	御幸地区には地域資源である古墳やゑびす祭り、いそのさわの蔵開き等があるが、衰退の傾向にある。	この地域資源を活かすために古墳ガイドボランティアやまちづくりリーダーの育成が必要である。	古墳についての学習会を定期的に的に行い、古墳ボランティアガイドを育成していききたい。 また、まちづくりに協力できる人を募集し、リーダー育成をしていききたい。
○保育所跡地活用対策 朝田・千足跡地	平成 28 年 4 月より御幸地区にある朝田保育所・千足保育所が廃止になる。その保育所跡地活用である。	うきは市の方針に合わせて検討する。	
○空き家・転入者対策	空き家が増加しており、今後の有効利用の検討が必要である。また、転入者が区へ加入する場合、高額な入会費が必要で区への加入者が減少しているので区入費の見直し、転入者への配慮が必要である。	現在の空き家を調査し、市の空き家バンクへの情報を図り、連携を図る。 また、転入者が区へ加入できるような区入会見直しを各行政区へ依頼し、検討を行う必要がある。	空き家調査と転入者が区へ加入できるような区入会見直しの検討を行っていききたい。
○JR ななつ星活用事業 コミュニティビジネス	JR ななつ星列車が毎週火曜日にうきは駅に停車しており、その列車を見学する為に市内外からの観光客が来る。その観光客に対してのコミュニティビジネスの検討である。		

② 分野別計画まとめ

中期(3～5年) 長期(5～10年)

No.	分 野	現在取り組んでいる 校区内活動	継続	検討	新しく必要な活動	今後取り組む活動	28年度	中期	長期	担当部署
1	防犯及び防災	○防災講習会 ○子ども見守り(登下校時、シルバー保安官) ○街頭補導活動 ○河川・道路の見守り ○果樹防犯・防犯パトロール	○ ○ ○ ○ ○		○御幸地区の防災組織の発足 ○防災訓練を校区全体で ○自主防災連絡会 ○空き家のリホーム化(定住・屋台村) ○空き家再生会社(行政・民間) ○空き家の巡回 ○自治協で校区内の数を把握 ○市に提供、市と連携 ○子ども・老人の見守り体制構築 ○子どもにGPSシステム ○少年補導員の増員 ○防犯・PTAの組織化	●自主防災連絡会を作る ○御幸地区の防災組織の発足 ○防災訓練と講習会を校区全体で ●空き家の実態を調査して市へ提供 ○空き家の見守り		○ ○ ○ ○		総務部会
2	生涯学習活動	○御幸地区グラウンド・ゴルフ大会	○		○リーダー育成・養成塾 ○自治協が地域に必要なメジャーな存在に ○若者も高齢者も定住できるまちづくり	●リーダー育成・養成塾 ●活動の場づくり(各種教室開催)		○ ○		社会教育部会
3	環境及び景観の保全	○花いっぱい運動 ○道路・河川愛護活動 ○道路や水路の草取り作業 ○公民館の整備	○ ○ ○ ○		○道路整備 ○歩道整備 ○空き家(地)の有効利用 ○住みやすさPR ○区に入りやすい条件を ○花いっぱいの拡充 ○校区フラワーロード ○身近な環境美化	●防犯カメラ・防犯灯の設置 ●多目的公園設置(防災を兼ねた公園づくり) ●転入しやすい環境づくり ○区入金の見直し(校区全体で) ○住みやすさPR ●校区フラワーロード			○ ○ ○ ○	総務部会
4	人権教育・啓発	○人権学習(区長会・分館長会・各部会)	○		○校区全体の人権講演会 ○人権の花づくり	●人権講演会		○		総務部会
5	福祉及び健康増進	○福祉委員研修会 ○御幸地区福祉大会 ○企画委員視察研修 ○年末たすけあい運動 ○年頭たすけあい献血	○ ○ ○ ○ ○		○福祉委員の増員 ○福祉委員研修の充実 ○福祉委員視察研修	●福祉委員研修の充実 ●福祉委員視察研修	○	○		健康福祉部会
6	高齢者等の生きがい	○市全体での金婚式 ○ひとり金婚式 ○老人クラブGG大会	○ ○	○	○高齢者の生きがいの場づくりを行う ○老人からシニアに名称変更 ○行政区公民館に集まる場所と活動づくり ○老人クラブの活動充実 ○敬老会の在り方(校区又は行政区)	●生きがいつくり ●健康つくりの内容充実 ●集う場所づくり ●近くで集まれる場づくり		○ ○ ○ ○		健康福祉部会

No.	分 野	現在取り組んでいる 校区内活動	継続	検討	新しく必要な活動	今後取り組む活動	28年度	中期	長期	担当部署
7	青少年の健全育成	○御幸小学校新入児旗取り支援 ○子育てと教育を進める集い ○学童フットベースボール大会 ○わんぱく教室(絵画、書道、将棋、陶芸、民謡・民舞、みざれ太鼓・よさこい踊り等) ○わんぱく寺子屋 ○夏休みバス研修 ○御幸小学校子育て応援事業(さつまいも植え・堀り) ○アンビシャス広場	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	○中学生と地域のつながり ○PTAの在り方 ○地域での子育て・コミュニティスクール ○子どもを育むリーダーの存在 ○子ども達が住み続けるまちづくり ○わんぱく寺子屋の充実と成果を ○中学生の組織化 ○中・高生の参加できる行事 ○子どもの居場所(不登校、コミセン、寺子屋) ○各区をまとめる子ども会組織 ○子ども会対抗クイズ大会 ○子ども会の統合 ○子ども会サポーター制度	●子どもの居場所づくり ●子どもサポーター制度 ●子ども会の統合見直し		○ ○ ○		青少年育成部会
8	男女共同参画社会の推進	○女性部連絡員視察研修 ○女性部連絡員学習会	○ ○		○女性役員(区長・分館長等)の増加 ○地区民へ講演等での啓発活動	●女性役員(区長・分館長等)の増加 ●地区民へ講演等での啓発活動		○ ○		社会教育部会
9	地域文化の継承及び創出	○御幸地区文化祭		○	○森と緑の保全、耕作放棄地の整備 ○歴史的資源を活用 ○祭りの内容や開催日の見直し ○文化祭の在り方(校区又は行政区) ○行政区単位の文化祭へ見直す ○20日ゑびす祭り	○農地バンク ●資源マップ作成 ○ボランティアで観光案内人 ○各地をつなぐマップ ○校区で発表会(見直すきっかけ) ●20日ゑびす祭り		 ○ ○ ○ ○	○	社会教育部会
10	コミュニティビジネス等地域経営	○うきは祭り出店	○		○ウキウキうきはマルシェ出店(いそのさわ蔵開き) ○地区のイベント参加 ○「ななつ星」に関わり、「旗づくり」と販売 ○まちづくり検討委員会の設置	●ウキウキうきはマルシェ出店(いそのさわ蔵開き) ●まちづくり検討委員会の設置	○	○		まちづくり部会
11	地域課題の解決、地域振興及び住民交流	○運動会開催 ○県民大会予選 ○御幸地区自治協議会だよりみゆきかわら版	○ ○ ○		○青年団組織 ○若者の活動の場 ○若者ワークショップ(〇〇の事業をまかせる) ○未婚女性を集めるイベント ○若い人を集める ○20～30代の若者との交流 ○若者が好むスポーツ競技の実施 ○若者へのアンケートと交流方法検討 ○多世代が交流できる場づくり ○地域活性化の取組み	●若者によるワークショップ事業づくり ●自治協議会ボランティア(行政区連絡員)広報員 ●みゆきかわら版の活性化		○ ○ ○		まちづくり部会

No.	分 野	現在取り組んでいる 校区内活動	継続	検討	新しく必要な活動	今後取り組む活動	28 年度	中期	長期	担当部署
12	その他特に必要が あると認めるもの					○コミュニティセンター問題 移設問題	○			
						○組織機構改革(区長委嘱)	○			
						○地域振興事業 地域おこし		○		
						○保育所跡地活用対策(朝田・千足跡地)		○		
						○空き家・転入者対策		○		
						○JR ななつ星活用事業 コミュニティビジネス		○		

うきは市『地域計画』



うきは市地区自治協議会
うきは市役所市民協働推進課

平成28年6月